

令和3年度・高校入試問題について

沖縄尚学 高校数学科

沖縄尚学高校の入学試験問題（数学）は以下のような作りになっています。

1 計算問題

正負の数・平方根や文字を含む計算・式の値・（一次・二次・連立）方程式
確率・図形の角度や長さを求めるなど

数学の基本は正確な計算力です。当たり前前計算を間違えないためには毎日の練習が必要です。早くても不正確はダメです。多少時間が掛かっても、自分の頭でしっかり考えてミスのないようにしましょう。

2 文章題

方程式や確率などの文章題

計算以外で求められるものとして論理力があります。文章を正しく読み、文字を用いる事により題意を満たす数を求めて下さい。生徒の皆さんが苦手な食塩水の濃度や道のりの問題などもよく出題されます。

3 2次関数

学校の授業ではまだ二次関数まで進んでないと思いますが、入試には出題しません。塾や自学自習で進めておきましょう。放物線と直線の交点や、回転体の体積を求めたりします。

4 図形の問題

例年だと三平方の定理から出題していましたが、今年はコロナの事もあり三平方は出題範囲外になります。その代わりに三平方を用いない図形の問題（合同・相似・円）などから出題します。

中心角・円周角・接線と弦が作る角度の性質などもしっかり学習しておいて下さい。

県立高校の問題に比べたら計算問題も難しいし、文章問題も難しく感じるかも知れません。高校の授業についていくためには基礎となる中学範囲の数学を習得して欲しいと思っています。

入試を乗り越え来年の春に皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。